

研究業績

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
1	犬の凍結精液に関する研究	共	1986年1月	東京獣医畜産学会	難波信一
2	豚の凍結精液に関する研究	共	1986年1月	東京獣医畜産学会	濱谷和也
3	不妊雄犬に対するPGF2 α アナログ製剤による治療効果	共	1986年10月	家畜繁殖学会	難波信一
4	Plasma luteinizing hormone, estradiol-17 β , progesterone, prostaglandin F α -metabolite during the peri-estrous period in the cow with normal and feeble estrus.	○	1989年	Jpn. J. Anim. Reprod. 35: 61-67.	Takeishi M
5	Differences in Survival Rate of Oocytes in Follicular Cysts between Freely-Grazing and Feed-Lot Holstein Dairy Cows	○	1990年3月	Jpn J Animal Reprod Vol 36(1):31-34	Takeishi M
6	A study on fetal lung maturity in dairy cows.	共	1990年	The proceedings of 16th World Buiatrics Congress. 1075-1081.	Takagi K
7	Bovine foetal and maternal placental aromatase activity and oestrogen levels during pregnancy and parturition.	共	1990年	The Proceedings of 16th World Buiatrics Congress. 860-866.	Tsumagari S
8	Changes of PGFM and sex steroid hormones in blood of horses pre- during and post-parturition.	○	1992年	J. Reprod. Dev. 38: 23-28.	Takagi K

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
9	Isolation of Bartonella henselae from domestic cats in Japan	○	1996年1月	J Vet Med Sci. 1996 Sep;58(1):81-83	Maruyama S
10	Seroprevalence of Bartonella henselae and Toxoplasma gondii infections among pet cats in Kanagawa and Saitama Prefectures.	○	1998年9月	J Vet Med Sci. 1998 Sep;60(9):997-1000	Maruyama S
11	ダルメシアン [®] の腎異形成の1例	共	2004年9月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	日比佐知子 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
12	ダルメシアン [®] の腎異形成の1例	共	2004年9月	関東地区獣医師大会	日比佐知子
13	犬の半陰陽の一症例	共	2004年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	大沼和気子
14	肥大型胃症を併発した副腎皮質機能亢進症の 犬の1例	共	2005年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
15	肥大型胃症を併発した副腎皮質機能亢進症の 犬の1例	共	2005年9月	関東地区獣医師大会	難波信一
16	内科療法で管理している犬インスリン [®] マの1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
17	高エストロゲン血症により貧血を呈したと考えられ る1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	日比佐知子
18	猫の眼瞼結膜に発生したリンパ腫の1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	小笠原静香
19	マダニ寄生が認められた犬21例におけるボレリア ならびにエールリッピアの抗体調査	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	小笠原静香
20	脊髄変性症が疑われる1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	桑原岳
21	骨に発生した犬の血管肉腫の1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	伊藤典子

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
22	犬の橈骨遠位部に発生した血管肉腫の一例	共	2006年9月	関東地区獣医師大会	伊藤典子
23	犬と猫のパルボウイルス感染症に対するリン酸オセルタミビルの効果	共	2006年9月	関東地区獣医師大会	難波信一
24	液状試薬測定法によるイヌおよびネコの血液生化学分析	共	2006年10月	日本獣医学会	桑原岳
25	Characterization of CD34+ cells from canine umbilical cord blood, bone marrow leukocytes, and peripheral blood by flow cytometric analysis	共	2007年8月	The Journal of Veterinary Medical Science	Shigehisa Tsumagari
26	犬のパルボウイルス感染症に対するリン酸オセルタミビルの効果(続報)	共	2007年2月	日本獣医師会学会年次大会	難波信一
27	猫の除爪術に関する一考察	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	難波信一
28	特発性咀嚼筋炎が先行した犬歯肉扁平上皮癌の一例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	大沼和気子
29	腹部大腿動脈血栓塞栓症および上腕動脈血栓塞栓症が疑われた2例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	小笠原静香
30	椎間板突出のイヌと肝腎の石灰化についての考察	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	桑原岳
31	ピロキシカムに反応した前立腺移行上皮癌の一例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	伊藤典子 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
32	内側関節上腕靭帯損傷による前肢破行を呈した症例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	尾上翠
33	消化管に発生した腺癌によって異なる臨床症状を示した猫二例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	荒瀬由梨恵
34	小動物外科手術におけるVessel Sealing Systemの有用性	共	2007年	第74回獣医麻酔外科学会	難波信一
35	犬の前立腺移行上皮癌に対してピロキシカムを使用した一例	共	2007年	関東・東京地区獣医師大会	伊藤典子

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、発表学会等の名称及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の発表者名を記入すること)
36	縫合糸反応性肉芽腫に対する超音波手術装置の使用	共	2007年	関東・東京地区獣医師大会	難波信一
37	Canine Melanoma of the Nictitans Gland	共	2007年	ACVO Annual Conference	Wakiko Onuma
38	ヒト免疫グロブリンを投与した免疫介在性溶血性貧血の犬2症例	共	2008年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	尾上翠
39	Speculative Utility of Urine (Acesmin) Concentration in Dogs	共	2008年	Veterinary Cancer Society Conference in Seattle	Noriko Ito
40	Arginine Vasopressin Modulates Norepinephrine from Cardiac Sympathetic Nerve in Guinea Pigs	共	2008年	The 18 th European College of Veterinary Internal Medicine - Companion Animal Conference	Mitsuhiro Isaka
41	犬の高レニン選択的低アルドステロン症の一例	共	2009年	関東・東京地区獣医師大会	難波信一
42	髄膜炎・脳室拡大がみられた非滲出型猫伝染性腹膜炎の一例	共	2009年	日本内科学アカデミー	桑原岳
43	椎間板ヘルニア54症例の回顧的調査	共	2009年3月	神奈川県獣医師会学術症例報告会	高橋洋介 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
44	椎間板ヘルニア98症例の回顧的調査	共	2009年	関東・東京地区獣医師大会	高橋洋介
45	ウェルシュコーギーにみられたSchmidt症候群の一例	共	2009年	関東・東京地区獣医師大	難波信一(学術奨励賞受賞)
46	ルチンの低用量投与が有効であった胸膜滲出の3例	共	2010年	神奈川県獣医師会学術症例報告会	別府雅彦
47	犬の炎症性腸疾患に対するアレルギー検査の有用性	共	2010年	神奈川県獣医師会学術症例報告会	難波信一
48	Urine diacetylated spermine might be a nonspecific tumor marker in canine neoplasia	○	2011年	Veterinary Science Development 2011; volume 1:e16	Mitsuhiro Isaka
49	延髄梗塞が認められた髄膜腫の猫の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例報告会	桑原岳

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
50	犬の脾臓に発生した線維組織球性結節の4症例に関する臨床検査所見	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	松原奈美
51	内科療法に反応しない特発性乳糜胸に対し胸管結紮術、心膜切除術を行った犬の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	高橋洋介
52	未分類型仙骨骨折が疑われた犬の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	井坂光宏
53	前・後十字靭帯断裂に内側半月板損傷を併発した猫の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	別府雅彦 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
54	犬のアトピー性皮膚炎(CAD)に対する塩酸セチリジン単独投与の効果	共	2011年	関東東京三学会	難波信一
55	猫の甲状腺機能亢進症の疫学的調査	共	2011年	関東東京三学会	松原奈美
56	遠位大腿骨矯正骨切術を試みた膝蓋骨内方脱臼グレードIVのチワワの2症例	共	2011年	関東東京三学会	井坂光宏
57	前・後十字靭帯断裂に内側半月板損傷を併発した猫の一例	共	2011年	関東東京三学会	別府雅彦
58	猫の門脈体循環シャントにアメロイドリング・コンストラクター(AC)を用いて外科治療を行った1例	共	2011年	関東東京三学会	高橋洋介
59	診断に苦慮した全身性クリプトコッカス症の1例	共	2012年	動物臨床医学会年次大会	別府雅彦
60	弁膜症に罹患した犬の血清ヒスタミン濃度	共	2012年	日本獣医循環器学会	井坂光宏
61	心嚢水貯留を呈した犬9症例の回帰的調査(2008-2011年)	共	2012年	日本獣医循環器学会	井坂光宏
62	Computed Tomography(CT)検査が大きく診断に寄与した3症例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
63	全身性エリテマトーデスが疑われた犬の2症例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	石川真由子
64	胆嚢粘液嚢腫を原因とする胆嚢破裂後に胆嚢摘出術を実施した犬2例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	荒瀬由梨恵

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
65	一般病院での 1,104 頭の犬と繁殖場での 120 頭の犬における抗 <i>Brucella canis</i> 抗体の保有状況	共	2012年	動物臨床医学	今本成樹
66	卵巣子宮摘出術が原因で膿腎症が発現した犬の1例	共	2013年	日本獣医内科学アカデミー	松原奈美
67	犬の副腎皮質機能低下症11例における回顧的研究	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	土居瑛希子
68	膝特異的リパーゼで異常値を示した犬の回顧的研究: 犬42例	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	鯨岡昌裕
69	上部消化管内異物に対する内視鏡検査の回顧的研究: 犬94頭	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	松原奈美
70	犬の特発性高カルシウム血症に対するアレンドロン酸とシナカルセトの併用	共	2014年	日本獣医師会学会年次大会	難波信一
71	前立腺がんを診断した猫2例	共	2014年	日本獣医師会学会年次大会	石川真由子
72	雄犬におけるフェノバルビタール投与はサイロキシンのグルクロン酸抱合活性値に影響しない	共	2014年	日本獣医学会	鈴木太郎
73	排卵障害にヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG)を用いて正常な妊娠・出産に至った犬の1例	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
74	無機能性先天性水腎症が疑われた若齢犬の1例	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	津山俊之
75	犬の悪性リンパ腫に対するメロノミック化学療法(低用量シクロフォスファミド経口投与)の検討	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	土井瑛希子
76	Clinical and Laboratory Features of 48 Feline Hyperthyroidism cases in Japan	○	2014年	Veterinary Science Development 2014; volume 4, No.1	Namba S
77	Histamine cocentration is involved in canine valvular disease	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、発表学会等の名称及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の発表者名を記入すること)
78	Two-hole extracapsular technique for the repair of canine cranial cruciate ligament rupture in thirty-eight dogs	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M
79	Corrective surgery for canine patellar luxation in 75 cases (107 limbs): landmark for block recession	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M
80	心房中隔欠損による大動脈血栓症が疑われた猫の一例	共	2015年	関東東京三学会	北村亮
81	イヌ皮膚線維芽細胞におけるブラジキニン誘導性のCOX-2発現:PKC ϵ によるMEK/ERK経路調節	共	2015年	日本獣医学会	中野令
82	イヌ滑膜線維芽細胞におけるTNF- α によるIL-6、IL-8の発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2015年	日本獣医学会	難波信一
83	ビスホスホネート関連顎骨壊死を疑った犬の1例	共	2015年	動物臨床医学会年次大会	別府雅彦
84	イヌMHCクラスIおよびクラスII遺伝子座の多型解析とハプロタイプ推定	共	2015年	DNA多型学会	宮前二郎
85	イヌMHCクラスI(DLA-88およびDLA-12)およびクラスII遺伝子(DLA-DRB1)の多型解析とハプロタイプの推定	○	2016年	日本実験動物学会	宮前二郎
86	消化管間質腫瘍にリン酸トセラニブが奏効した犬の一例	共	2016年	神奈川県獣医師会学術大会	石川力也
87	口腔内に波及した猫の真菌性肉芽腫の一例	○	2016年	獣医臨床皮膚科	濱崎さやか
88	Expression and function of interleukin-1 β -induced neutrophil gelatinase-associated lipocalin in renal tubular cells	○	2016年	PLOSOne	Tadayoshi Konno, Rei Nakano
89	イヌ滑膜線維芽細胞のTNF- α 処理によるIL-8発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2016年	日本大学獣医学会	難波信一(基礎・応用部門最優秀賞)

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、発表学会等の名称及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の発表者名を記入すること)
90	イヌ皮膚線維芽細胞におけるブラジキニン誘導性COX-2発現: β 2受容体/Gq/PLD/PDKによるPKC ϵ を介したERK核内移行制御	共	2016年	日本獣医学会	中野令
91	イヌ皮膚由来線維芽細胞におけるTNF- α によるシクロオキシゲナーゼ-2発現: MEK/ERKおよびp38経路の関与	共	2016年	日本獣医学会	吉池卓也
92	イヌ滑膜線維芽細胞のTNF- α 処理によるIL-8の発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2016年	日本獣医学会	難波信一
93	イヌ MHC クラス I 遺伝子 (DLA-12,-64,-88) およびクラス II 遺伝子 (DLADRB1) の多型解析とハプロタイプの推定	共	2016年	日本組織適合性学会	宮前二郎
94	脾臓腫瘍の犬における血漿TAT濃度の評価	共	2017年	兵庫県開業獣医師会研究会	中田美央
95	The use of zoledronic acid for solitary osseous plasmacytoma in a dog	共	2017年	獣医麻酔外科学雑誌	Tomone Zama
96	皮膚線維芽細胞におけるPLD/PDK-1経路を介したPKC ϵ の活性化とERKの核移行	共	2017年	日本細胞生物学会	中野令
97	イヌ滑膜線維芽細胞におけるグルコサミン塩酸塩によるシクロオキシゲナーゼ2の脱グリコシル化	共	2017年	日本大学獣医学会	北中菜菜子
98	イヌ滑膜線維芽細胞におけるインターロイキン1 β によるシクロオキシゲナーゼ発現を介したメラノソフィア形成	共	2017年	日本大学獣医学会	堀 甲二
99	イヌ滑膜線維芽細胞におけるインターロイキン1 β 誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現に対するNF- κ B経路およびMAPキナーゼ経路	共	2017年	日本大学獣医学会	藤倉直人
100	ERK2 and JNK1 contribute to TNF-α-induced IL-8 expression in synovial fibroblasts	共	2017年	PLOS ONE	Shinichi Namba
101	イヌ滑膜由来線維芽細胞のTNF- α 誘導性IL-8発現におけるERK2とJNK1活性化の関与	共	2017年	日本獣医学会	難波信一(日本大学獣医学会最優秀賞)

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
102	イヌ脱分化脂肪細胞のレチノイン酸および塩基性線維芽細胞成長因子による神経分化	共	2017年	日本獣医学会	中野 令
103	イヌ滑膜由来線維芽細胞における新規ERK活性調節: RelA/p65によるERK活性調節	共	2017年	日本獣医学会	北中 卓
104	イヌ滑膜由来線維芽細胞におけるグルコサミン塩酸塩によるシクロオキシゲナーゼ-2の脱グリコシル化	共	2017年	日本獣医学会	北中菜菜子
105	イヌ口腔内メラノーマ細胞におけるインターロイキン1 β によるシクロオキシゲナーゼ発現を介したメラノスフィア形成	共	2017年	日本獣医学会	堀 甲二
106	イヌ口腔内メラノーマ細胞におけるインターロイキン1 β 誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現に対するNF- κ B経路およびMAPキナーゼ経路	共	2017年	日本獣医学会	藤倉直人
107	低タンパク血症が認められなかった脂肪肉芽腫を伴う腸リンパ管拡張症の犬3例	共	2017年	動物臨床医学会	森脇 拓
108	Effect of Glucose Transporter Inhibition on Cell Growth in Canine Melanoma	共	2018年	ACVIM Forum 2018 Research Abstract	Shinichi Namba
109	Increase in Serum Symmetric Dimethylarginine Level Following Anesthesia in dogs	共	2018年	ACVIM Forum 2018 Research Abstract	Shinichi Namba
110	Protein kinase C ϵ regulates nuclear translocation of extracellular signal-regulated kinase, which contributes to bradykinin-induced cyclooxygenase-2 expression	共	2018年	Scientific Reports	Rei Nakano
111	イヌメラノーマ細胞におけるホルボールエステルによるシクロオキシゲナーゼ2発現	共	2018年	日本大学獣医学会	杉村真奈
112	グルコサミン塩酸塩によるイヌメラノーマ細胞の増殖抑制	共	2018年	日本大学獣医学会	八竹直哉
113	イヌメラノーマ細胞はアルカリ環境下で細胞死が誘導される	共	2018年	日本大学獣医学会	久慈 愛

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
114	イヌ脱分化脂肪細胞の脳タイプJNKを介したGABA作動性ニューロンへのリプログラミング	共	2018年	日本大学獣医学会	中野 令
115	グルコサミン塩酸塩はイヌメラノーマ細胞の増殖を抑制する	共	2018年	日本獣医学会	八竹直哉
116	イヌメラノーマ細胞のアルカリ環境下での細胞死誘導	共	2018年	日本獣医学会	久慈 愛
117	イヌメラノーマ細胞におけるホルボールエステル誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現	共	2018年	日本獣医学会	杉村真奈
118	イヌ脱分化脂肪細胞の脳タイプJNK (JNK3) を介したGABA作動性ニューロンへのリプログラミング	共	2018年	日本獣医学会	中野 令
119	イヌ皮膚線維芽細胞のIL-1 β 誘導性MMP-3の発現におけるERK1/ATF-2シグナルの関与	共	2018年	日本獣医学会	北中菜菜子
120	Impact of General Anesthesia on Serum Symmetric Dimethylarginine Concentration in Cats	共	2018年	AAFP annual conference	Shinichi Namba
121	Comparison of the effects of general anesthesia induced with alfaxalone and propofol on renal function in dogs	共	2018年	8th Annual Congress of AiSVS (Asian Society of Veterinary Surgery)	Shinichi Namba
122	NF- κ B p65 and p105 implicate in interleukin 1 β -mediated COX-2 expression in melanoma cells	共	2018年	PLOS ONE	Nanako Kitanaka
123	イヌメラノーマ細胞におけるIL-1 β 刺激によるMMP-3発現	共	2019年	日本大学獣医学会	八竹直哉
124	イヌ悪性黒色腫細胞のTRPA1を介した細胞死におけるPLD1の関与	共	2019年	日本大学獣医学会	久慈 愛
125	家系を用いたネコMHCクラス I 遺伝子の多型解析およびハプロタイプの推定	共	2019年	日本組織適合性学会	岡野雅春
126	ポリプロピレン・ビーズを用いた採尿が猫の尿検査に及ぼす影響	共	2019年	JSFM猫の集会	関根陽香 CFC賞受賞

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
127	Interleukin-1 β promotes interleukin-6 expression via ERK1/2 signaling pathway in canine dermal fibroblasts	共	2019年	PLOS ONE	Nanako Kitanaka
128	ERK1/ATF2 signaling axis contributes to interleukin 1 β -induced MMP-3 expression in dermal fibroblasts	共	2019年	PLOS ONE	Nanako Kitanaka
129	イヌ滑膜由来線維芽細胞におけるNF κ B依存性 ERK1/ 2 核移行を介したCOX-2発現	共	2019年	日本獣医学会	中野 令
130	イヌ悪性黒色腫細胞のTRPA1を介した細胞死におけるPLD1の関与	共	2019年	日本獣医学会	久慈 愛
131	イヌ悪性黒色腫細胞におけるIL-1 β 刺激によるMMP-3発現	共	2019年	日本獣医学会	八竹直哉
132	All-trans retinoic acid induces reprogramming of canine dedifferentiated cells into neuron-like cells	共	2020年	PLOS ONE	Rei Nakano
133	洋品種および雑種ネコのMHCクラスII遺伝子 (<i>FLA-DRB</i>) の多型解析およびハプロタイプの推定	共	2020年	日本獣医学会	岡野雅春
134	イヌ滑膜線維芽細胞におけるシクロオキシゲナーゼ-2に対するグルコサミン塩酸塩誘導性グリコシル化抑制とオートファジー誘導性タンパク質分解	共	2020年	日本獣医学会	中野 令
135	イヌ皮膚由来線維芽細胞におけるインターロイキン 1 β によるT β 1-2/ERKシグナリング経路を介したインターロイキン 8 の発現	共	2020年	日本獣医学会	諏訪部陽子
136	Non-transcriptional and translational function of canonical NF- κ B signaling in activating ERK1/2 in IL-1 β -induced COX-2 expression in synovial fibroblasts	共	2020年	Frontiers Immunology	Rei Nakano

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
137	Involvement of GLUT1 and GLUT3 in the growth of canine melanoma cells	共	2021年	PLOS ONE	Yoko Suwabe
138	イヌメラノーマ細胞におけるGLUT1およびGLUT3を介した細胞増殖	共	2021年	日本獣医学会	諏訪部陽子
139	イヌメラノーマ細胞におけるIL-1 β 刺激によるMMP-3発現	共	2021年	日本獣医学会	布村順一
140	Tpl2 contributes to IL-1 β -induced IL-8 expression in canine dermal fibroblasts via ERK1/2 activation	共	2021年	PLOS ONE	Atsuto Naruke
141	日本で飼育されているネコのMHCクラスII (FLA-DRB) 多型およびハプロタイプの特徴	共	2021年	DNA多型学会	岡野雅春
142	Interleukin-1 β triggers matrix metalloprotease-3 expression through p65/RelA activation in melanoma cells	共	2022年	PLOS ONE	Junichi Nunomura
143					